

- 県北地域のアスパラガス栽培は、生産者の高齢化に伴い、栽培中止圃場面積が新規栽培開始面積を上回っている。また単収がここ数年1.5t/10aと低滞。
- 関係機関、部会と連携して、昨年度、策定した産地振興計画の達成にむけ重点指導農家として、若手生産者及び低単収だが意欲の高い生産者の単収向上、栽培環境の見える化で栽培技術向上を支援。
- その結果、令和元年産の産地実績は、単収1.727t/10aと前年比118%と増加。

具体的な成果

普及指導員の活動

1 アスパラガス単収向上

■重点農家を12名選定し個別指導を実施して適期の栽培管理が出来たことによる増収。

12名の平均単収

H30年産1,417kg/10a

⇒R元年産 1,572kg/10a

(前年比111%)

地域全体

H30年産 1,458kg/10a

⇒R元年産 1,727kg/10a

(前年比118%)



現地検討会



夏の状況

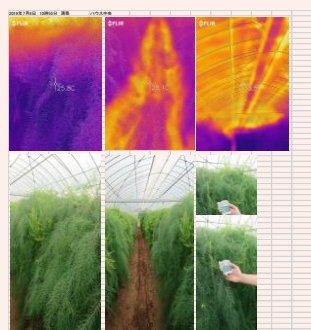
■関係機関、部会と連携し、アスパラガス産地振興計画の修正、進捗管理を実施。

■重点農家(担い手、意欲のある農家)の個別指導を関係機関と行き、指導時に前回の指摘事項を実施したか確認し、適期栽培管理ができるよう指導実施。

■ハウス内温度、湿度、CO2濃度、アスパラガスの表面温度の測定を行い、測定結果を基に現地検討会の栽培指導に説明。生産者のアスパラガス生態の理解を深め栽培管理技術の改善を図られるよう指導。

2 ハウス内環境の見える化

■ハウス内温度、湿度、CO2濃度、アスパラガスの表面温度の測定を行い、測定結果を基に栽培指導を実施。



アスパラガス表面温度を
見える化し指導資料に活用
することで生産者の夏場の
温度管理の重要性を理解

普及指導員だからできたこと

■日頃から部会役員、JA、市町等とのコーディネーター役として連携し、産地振興計画の実現に向けての取り組みを進めることができた。